

青年革新懇分科会



全国革新懇交流会の青年分科会に集まった若者ら=19日、名古屋市東区

「保守化」背景に不安

「つながることはできる」

19日、名古屋市内でおこなわれた青年革新懇分科会では、「若者は自民党支持率が高く、保守化している」という参加者の質問から議論がはじまりました。

「市民連合@愛知」の呼びかけ人の玉置文弥さんは、「保守化している」と区切ってしまうと、その人たちに對抗するような考えでいいのかが。こちらからいっしょに考える機会をつくる必要がある。わ

かった人だけでやっていけるのでは運動は広がらない」と述べました。京都府の青年革新懇「LDAーKYOT

ある学生は「この先就活が待っているんです。いま首相が交替するのはなんとなく怖い」と話していました。でも自民党の改憲草案を示すと「これはいい」という人はいない」と話しました。

EQ」の小林野渉（あ）さんは、「将来への不安、切実な要求に立脚点を置いて憲法や政治を語ることが大切」と語りました。

「野党は共闘！市民アクション@愛知4区」の中澤和子さんは、「思い切って共産党や民進党の事務所へ行きました。つながることはできるといのが実感です。もっと市民と政党をつなげていきたい」と話しました。

神奈川県の「UNI